



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL <https://www.tonyamachi.com> E-mail [info@tonyamachi.com](mailto:info@tonyamachi.com) 発行/2025年2月28日

## 卸団地の景観再整備に取り組む 2025年組合員新年会

組合員新年会が1月10日（金）にホテル青森で開催され、組合員及び来賓合わせ102名が参加した。

開会にあたり柳谷理事長は「青森県内は積雪量が平年の3倍となる記録的な大雪に見舞われており、組合としても団地内の除排雪作業に全力で対応していきたい。景観再整備事業では問屋町地区枝線道路値・社会的価値・文化的価値



組合員新年会

のそれぞれの創出事業活動を推し進めながら問屋町ビジネススクールや人材確保支援事業なども充実させ、組合員へのサポートをしていきたい」と挨拶した。

続いて、来賓を代表して津島衆議院議員、青森県知事（三浦経済産業部部長代読）、青森市長（横内経済部部長代読）から祝辞が述べられた。

次に、問屋町合同清掃の表彰式が行われ、新年会に出席した20年賞受賞の5社に柳谷理事長から盾と記念品が手渡された。

その後、新たに組合員となった合同会社令和末広の紹介が行われ、青森商工会議所の佐藤副会頭の乾杯で祝宴に入った。



合同清掃表彰式



団地内の積雪状況



道路幅が狭まり渋滞が多発

### 記録的豪雪 問屋町の交通や建物などに支障

今冬、全国的に大雪が続く中、青森市でも年末年始に大雪に見舞われ12月中には積雪が1mを超えた。過去50年間で12月に1m以上の積雪が記録されたのは1984年、2021年に続き、今回が3度目。1月に入っても雪の勢いは衰えず、一時139cmの積雪を観測した。

これを受けて、組合では雪害警戒態勢をとり、組合員に対して屋根の積雪確認と雪下ろしの実施を呼びかける緊急連絡を行った。また、除雪作業により道路脇に積まれた雪が原因で道路幅が狭まり、問屋町大通りでは片側1車線の通行となったほか、枝線道路では車両がすれ違えない場所も増え、交通に支障をきたした。組合の要請を受け、市による除雪作業が行われたものの大雪による降雪量の多さから対応が追いつかない状況となった。

組合では、今後も市と緊密な連絡をとり、道路幅員を確保し、組合員の業務に影響が出ないよう取り組む。

▽問屋町合同清掃20年賞  
受賞企業（6社）

- (株)伸和産業
- 三協運輸(株)
- (株)青森みちのく銀行

第二問屋町支店  
青森産業会館  
青森市はまなす会館

ブリヂストンタイヤ  
リューションジャパン(株)

▽問屋町合同清掃10年賞  
受賞企業（3社）

- (株)ISEKI Japan
- (株)ENEOSフロンティア
- 生活協同組合コープあおもり

### 厳しい求人環境が続く 求人アンケート調査結果

組合では、組合員企業の当地内での採用状況を調査する求人アンケート調査を毎年実施しており、2024年度

の調査結果がまとまった。2024年度の採用状況(新規学卒者及び経験者)調査では、58社が259人を採用。「採用しなかったができなかった」との回答が10社あった。採用者の内訳を見ると、新卒者が41%、経験者が59%で、採用予定数の充足率は全体で66%との結果であった。

### 救急法基礎講習を開催

組合では、1月24日(金)に問屋町会館で救急法基礎講習を開催した。日本赤十字社青森県支部の協力のもと実施した講習会には組合員従業員ら15名が参加した。

同講習では、日常生活で起こりうる事故や急病に対応するための救急法の知識と技術が学べ、手当の基本や人工呼吸、胸骨圧迫、AEDの使用法、気道異物除去などが習得できる。

当日は同支部の指導員である三浦氏と中堤氏が講師を務め、傷病者の状態確認や気道確保、胸骨圧迫の基本手順、



胸骨圧迫の実技指導



認定試験

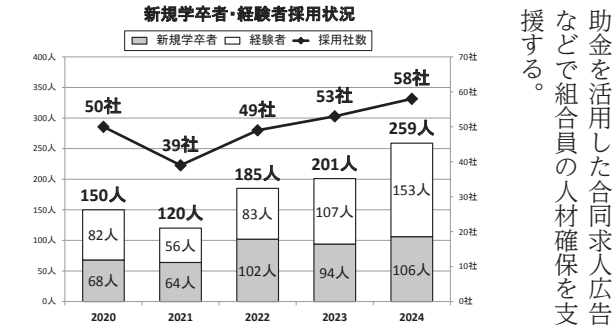
回復体位やAEDの使用方法などを教本と実技指導を交えながら学んだ。講習終了後には認定試験が行われ、参加者全員が合格し赤十字ベーシックライフサポーター認定証が交付された。

参加者は「胸骨圧迫や傷病者の体の起こし方を実際に行った際、最初はうまくいかなかったが、繰り返し練習することで自信が持てるようになった。緊急時には落ち着いて対応したい」と感想を語った。

2025年度の新規学卒者の採用状況は、「採用した」と回答した組合員が24社。「採用したいができていない」と答えた組合員は19社と昨年より2社増加し、引き続き厳しい求人環境が続いている状況がうかがえる。

実施している採用活動については、「ハローワークへの求人票提出」が60%、リクナビなどの「採用支援会社の利用」が33%、「合同企業説明会の参加」が29%などとなっている。

組合では引き続き、合同企業説明会や問屋町版インターネットの開催、厚労省の補



助金を活用した合同求人広告などで組合員の人材確保を支援する。

### 清々しい1年を祈る 新年合同厄払い

組合では、2月7日(金)に問屋町会館で新年合同厄払いを開催し、組合員従業員6名が参加した。

今年で13回目の開催となる合同厄払いは、厄年を迎える組合員従業員が1年間平穏で無事に過ごせるようにと、職場に近い問屋町会館を会場に昼休みに開催している。

会場には祭壇が設置され、問屋町の氏神様である大星神社の沼田禰宜(ねぎ)による祈禱が執り行われた。参加者



1年の無病息災を祈願

は祭壇に玉串を捧げ、自身や家族の無病息災を祈願した。参加者は「お祓いを受け心が清められた気がする。1年、良いことがたくさん訪れることを願っています」と話した。

### 大青工業(株)がイノベーションチャレンジ賞を受賞

組合員の大青工業(株)が「おもり産学官金連携イノベーションチャレンジ賞」を受賞した。同賞は、青森県の産学官金連携活動のさらなる発展と裾野拡大を目的として、産学官金連携において先進的で優良な取り組みをしている県内の民間事業者を表彰する制度。

同社では、AI・IoTの制御技術を活用し、マイナス35℃の貯蔵温度を安定的に維持することで長期間にわたる高品質な保持を可能にする「省エネルギー型食品保存用高精度冷凍冷蔵システム」の開発と事業化。



受賞した大青工業(株)鳴瀬社長(左から2人目)

12月18日(水)に開催されたおもり産学官金共創フォーラムの表彰式で、宮下青森県知事より表彰状と記念盾が授与された。

度恒温冷凍保管システム」を開発した。

## 株式会社 技研 GIKEN

技研の社是である「技の術を研磨」をイメージし、磨けば光ると言われるダイヤモンドに設定。上半分を「未来・希望・成功」の3つの光、下半分を「実績・信頼・挑戦」の3つの道として表現しています。

本社 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町3丁目3番15号  
TEL 017-757-9980 FAX 017-757-9981  
青森工場 〒039-2312 青森県上北郡六戸町大字下吉田字赤田15番地の1  
TEL 0176-70-1088 FAX 0176-55-3909



## 株式会社 丸大冷蔵

代表取締役社長 堀内 剛博  
青森市問屋町二丁目16番8号  
TEL 017-738-4171(代) FAX 017-738-8399

本社・八戸営業所・弘前営業所・むつ営業所・盛岡営業所・一関営業所・秋田営業所・大館営業所

### 200日コースを新設 問屋町ワーキングコンテスト参加者募集

今年度も好評だった「問屋町100日ウォーキング」が、来年度より200日コースを追加し、新たに「問屋町ワーキングコンテスト」として開催する。200日コースは4月15日から、100日コースは7月24日からスタートし、10月31日までの歩数を競うコンテストとなる。参加料は1人300円で、



▲コンテストの詳細申込みはこちらから

### 雪害対策や各種加入保険のご確認を!

青森市では年末年始の積雪量が歴代最多を記録し、団地内では建物の屋根や壁などが破損する雪害事故が多く発生している。今後、雪解けが進むと落雪による雪害のリスクは更に高まるため、常に屋根の積雪状況をチェックし、必要に応じて屋根の雪下ろしを行うなど、十分な対策を講じることが求められる。なお、通常、豪雪などの自然災害による落雪事故は不可

コース別に3人1チームでエントリー。締切は3月14日。

抗力とされ、法律上は賠償責任が発生しない可能性が高いとされている。しかし、十分予測可能であるにもかかわらず屋根の雪下ろしや注意を促しておらず、第三者へ損害を与えてしまった場合は賠償責任を問われる場合がある。このような不測の事態に備えるためにも、現在加入している各種損害保険の契約内容を改めて見直し、必要な保証が十分か確認していただきたい。お問い合わせは卸センター総務部(鎌田)まで。

### 業務報告

1月  
…主要事項…

### 問屋町 ビジネススクール

- 10日▽組合員新年会
- 14日▽金融審査会
- 21日▽第6回問屋町石膏アート教室
- 24日▽救急法基礎講習
- ▽第3回問屋町従業員モニター会議
- 27日▽第4回景観再整備検討ワーキング委員会
- ▽第18回景観推進管理委員会
- 16日▽効率的な営業術
- 21日▽人生とビジネスを豊かにするマンガラチャート
- 28日▽若手リーダーのステツアップ研修(30日)

### 経済雑感

第一五八回

日本銀行青森支店  
支店長 益田 清和

第77弾となる今回の経済雑感は、日本銀行青森支店の益田支店長にご寄稿いただいた。

最近、「青森県の解像度」というSNS投稿を見かけた。初めは青森県のイメージが「りんご」一つだけだったのが、青森移住経験を経て、地域の名所や特産品等に地図上のイメージが細分化されていったものだ。昨年6月に青森に赴任し半年が過ぎた私を感じていたことをまさに表現していたもので、共感を覚えた。

赴任するまで青森県を訪れたことはなく、「りんご(赤・青)」「ねぶた(1種類)」くらいの認識だった。そこで、まずは当地のことを色々知りたいたいと思い、地元の方におすそめを伺いつつ、プライベートで県内を隈なく巡ってみることにした。



日本銀行 青森支店 支店長 益田 清和氏

メジャーな観光地や知る人ぞ知る名所を訪れ、道の駅で名産品を買った。各地の食事やお酒等を楽しみ、自治体の中心の役場(建物)も確認して回った。赴任後3か月間で全40市町村を訪れた日銀支店長は過去にいなかったのではないかと思う。

青森・弘前・五所川原のねぶた(ねぶた)も経験したし、世界遺産の縄文遺跡群(県内全8先)、GOKANAアートフェス(5館)も全部巡った。数十種類もあると知らなかつたりんごも、色々と食べ比べた。夏・秋・冬と当地での生活を堪能し、当初は暖味だった青森県の解像度が、今では非常に鮮明になった。

当地は、四季が明瞭で豊かな自然や観光資源に恵まれ、食べ物も新鮮で美味しいものが豊富で、素晴らしい魅力に溢れている。ずっと当たり前にあるものは長く住んでいると気が付き難いが、実際に初体験してきた私は、自信をもってそう言える。雪は確かに時に猛

最後に少し経済の話。足元の県内景気は、インバウンドを含む観光需要の増加を背景としたサービス消費の堅調さに支えられている。その意味でも、コロナ禍を経て回復してきた観光需要が今後も継続するかに注目している。通年観光への取り組みを含め、更なる需要喚起が期待されるが、当地にはそれだけの可能性があると思う。私自身、青森県の魅力をもっと多くの方に知ってもらえるよう、微力ながら宣伝していきたい。また、より解像度を高めていくためにも、春の青森の訪れが待ち遠しい。

(つづく)

あなたの暮らしに  
近くて便利!

セブン-イレブン  
青森問屋町1丁目店

〒030-0131  
青森市問屋町1丁目9番22号  
電話/FAX 017-728-7717

安心 365日 24時間体制 安全

<https://www.Stohnichi.co.jp/>

東日運送株式会社 代表取締役 庄子 哲朗

【業務内容】  
・半導体機器輸送(超精密機器)  
・重量物機器輸送&搬入据え付け  
・医療機器輸送  
・遊技機輸送&倉庫管理業

本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町4-2-2  
TEL:022-231-5036 FAX:022-231-5634  
青森営業所 〒030-0131 青森市問屋町2-13-20  
TEL:017-764-3866 FAX:017-764-3867

電設資材総合商社 本社 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町4丁目1-20  
☎ 017-771-9000 FAX 017-771-9010

# 東和電材株式会社

【営業ネットワーク】  
■青森地区/青森・むつ・弘前・五所川原・八戸・三沢・十和田  
■秋田東和電材/秋田・大館・能代・大曲・本荘・横手 ■埼玉地区/大宮・川越・行田・浦和・所沢・川口

数字で語る重要性を学ぶ  
ビジネススクール特別講演会

問屋町ビジネススクールでは、12月6日(金)に問屋町会館において無料の特別講演会を開催した。「数字に強い人材・組織を作る方法」事例と正しいアプローチ法」と題した講演会の講師は、BMコンサルティング(株)の深沢代表が講師を務めた。会場受講とオンライン受講を併用して行われた講演会は、合わせて35名が受講した。



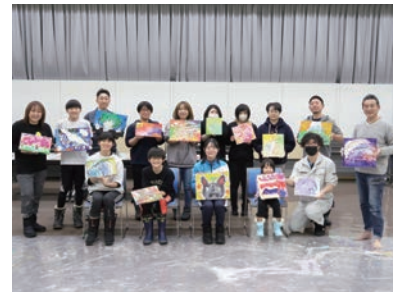
ビジネススクール特別講演会

数字で話せるようになること。さらにリーダー自身がその姿勢を体現し、組織全体に数字の重要性を浸透させることが大切」と説明。加えて「数字を活用することで、仕事の品質が向上し、結果的に組織の競争力強化につながる」とまとめた。

アート作品作りに挑戦  
石膏アート教室

第6回問屋町石膏アート教室が1月21日(火)に問屋町会館2階大会議室で開催され、組合員従業員ら14名が参加した。

講師は(株)エーアイサインの石澤会長が務め、参加者は自分のアート作品作りに挑戦した。石膏アートは、木製の板に絵の具で色を塗り、その上から水とボンドで溶かした石膏を重ねて制作する。塗り重ねた石膏を流したり、散らしたり、板を斜めにして垂らしたりと、さまざまな表現が可能。絵具と石膏が混ざること



個性溢れる作品が完成

れ、誰でも簡単にアート作品を作り上げることが出来る。参加者は「絵の具と石膏を使って自分だけのアートが作れるのが面白かった。予想外の色合いや模様ができて仕上がりに大満足です」と笑顔で感想を述べていた。

団地企業訪問

「いつでもラーメン日和です!」と笑顔で話すのは、問屋町フードコートの「ラーメンピヨリ」を運営する合同会社令和末広の工藤代表。



(同)令和末広代表  
工藤 晃治 氏

同氏は高校卒業後、働きながら調理師学校へ通い中華料理店へ就職。その後、ラーメン屋台を始め、2008年4月に独立し「麺屋晃心」を当時の青森市文化会館(現リソクステーションホール青森)近辺にオープン。当初は醤油・味噌・塩のあっさりとしたラーメンを提供していたが4年目に鶏白湯へチャレンジし、同じ頃青森市新城へ移転した。新城では濃厚鶏白湯の有名店として12年営業した

が、店舗の狭小化や敷地前歩道の拡幅計画などもあり、店舗名を新たに昨年10月に問屋町へ移転オープンし卸団地の一員となった。

「移転と同時に店名を変えるなら分かりやすくしようと思いつ、以前からSNSへ投稿する際によく使用していた『ラーメンピヨリ(日和)』にしました。ロゴも自分で考え、こんなイメージでと書きしたものを娘が正書してくれらした。麺屋晃心からの常連さん

もオープン初日から来店してくれるなど、周りの方々から支えられながら問屋町で新たなスタートをきる事が出来ました。未

一杯を提供しています。メニューは6種類ありますがどれも美味しいです。12月から開始した朝ラーでは背脂煮干ラーメンをご用意しております。7時から10時までの限定メニューですの出動前には是非ご賞味く

ださい」とアピール。問屋町の印象について話が及ぶと「組合がとも大規模で、団地内の団結力が高いことに驚きました。また問屋町は水が美味しく、以前よりラーメンの完成度を上げてくれていきます。製麺している際には窓から様々な動物達が顔を覗かせてくれるので働いていてとても楽しいです。当店でそんな楽しい職場で一緒に働いてくれる社員を募集しています。未経験でも大歓迎です」と笑顔を見せた。

2025年は大雪から始まりました。お正月を挟んで10日間で2m近くの降雪があり、お正月休みは雪かき三昧となりました。それでも初売りに出かける青森市民の逞しさに脱帽です!さて、青森と言え

「葉とり」をするのが、りんごに直接太陽があたるようになるので色むらが減り、色づきもよくなりますが、りんご周辺の葉をとるための手間がかかります。逆に袋かけや葉とりをしないと見た目はムラができやすいが、自然の恵みをふんだんに浴びて美味しいりんごになります!「ふじ」は袋かけも葉とりもあり、「サンふじ」は袋かけなし・葉とりあり、「葉とらずサンふじ」は袋かけも葉とりもなし。一般的に「ふじ」の方が、糖度が高くジュシーで蜜入りが多いです。ということで自宅では葉とらずサンふじを食べてます!(小田切)

編集後記

2025年は大雪から始まりました。お正月を挟んで10日間で2m近くの降雪があり、お正月休みは雪かき三昧となりました。それでも初売りに出かける青森市民の逞しさに脱帽です!さて、青森と言え



ラーメンピヨリ

青森市問屋町2-10-3  
TEL 017-718-0402

営業時間 午前7時~午後3時  
定休日 毎週日曜日

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目11-18  
TEL: 762-1411 FAX: 739-7771 <https://www.soft-academy.co.jp/>

**株ソフトアカデミーあおもり**

●システム企画・開発・運用 ●IT教育 ●給排水CAD・申請 ●施設賃貸事業

私達はDX人材育成と  
企業のDX推進をサポートします